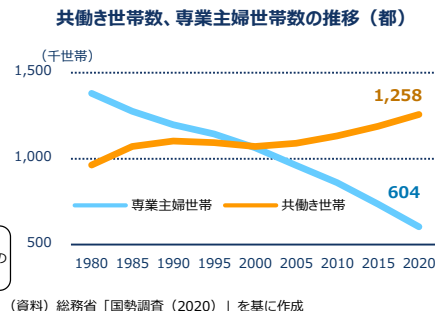
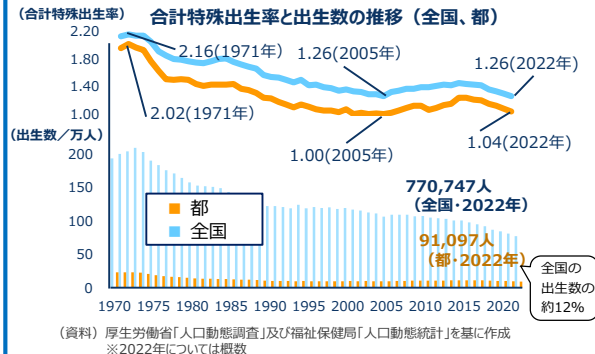


# 少子化対策の推進に向けた論点整理（概要版）

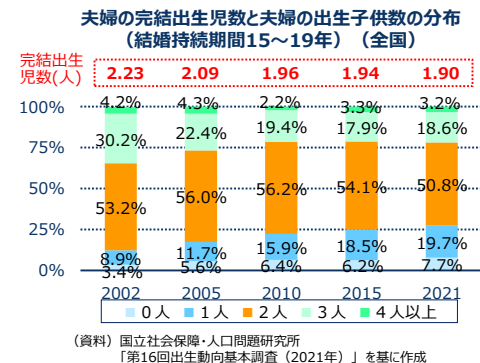
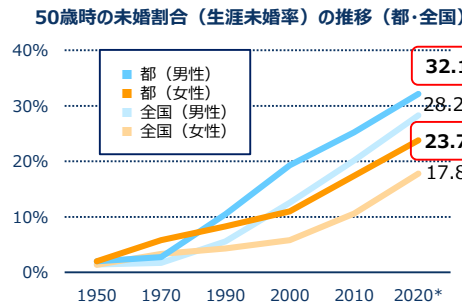
- 令和5（2023）年1月「東京都の少子化対策の現在」をとりまとめ、**都として為しうる施策**を盛り込み実践中
- **望む人が安心して子供を産み育てることができる社会**の実現に向けて、**少子化の現状や要因を分析**し、来年度予算の**政策検討における課題を整理**

## 少子化の概況

- 全国的に少子化が進む中、**都の出生数は一定程度を維持**
- 都には多くの**若年層**が集まるとともに、**核家族化**の進展や**共働き世帯**が増加



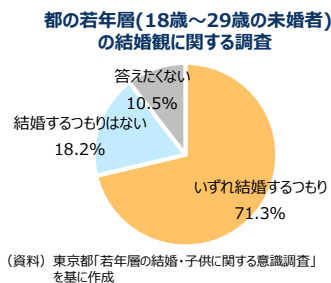
- **未婚化**が進行するとともに、子供数が**0人又は1人**の世帯が増加



## 分野ごとの現状・分析

### 出会い・結婚

- 結婚に**前向きな層**は依然として多い



- **出会いの機会**、**個人の価値観**、**経済的理由**等  
独身の理由や求められる取組は様々

| 独身でいる理由（％）          |      |
|---------------------|------|
| 適当な相手にめぐり会わないから     | 49.2 |
| 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 31.3 |
| 結婚資金が足りないから         | 29.7 |
| 異性とうまくつき合えないから      | 24.9 |
| 結婚する必要性をまだ感じないから    | 22.0 |
| 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから    | 22.0 |

（資料）東京都「都民の結婚等に関する実態及び意識についてのインターネット調査」を基に作成 ※上位のみ抽出

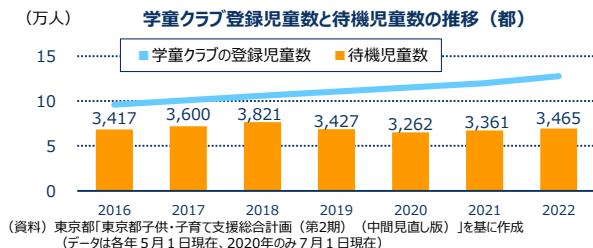
#### 【有識者の意見】

- お見合い文化がなくなった結果、生涯未婚率が上がったという分析もある。行政が結婚支援を実施することは一定の意味がある
- 行政だけでなく、民間企業とも協力しながら行うべき

### 子育て期の支援

- **保育**の待機児童問題の解消は目前

- **学童クラブ**の整備が進み、登録児童数は増加しているが、待機児童も発生（万人）



- **0-2歳**までは家庭で育つ児童も多い（0歳児：74%、2歳児：39%、3歳児：33%）

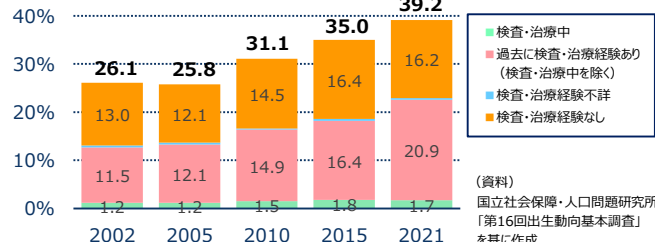
#### 【有識者の意見】

- 保育所整備が進んでいる都道府県ほど就業継続率が高い傾向
- 2015年頃から扶養者（専業主婦等）世帯の出生率が低下し始めている。在宅育児世帯、特に子供が小さい時期への支援が必要

### 妊娠・出産

- 妊娠・出産にあたっては、**様々な不安**が存在
- 不妊を心配する夫婦の割合は**4割近く**にのぼる

#### 不妊について心配したことのある夫婦の割合と検査・治療経験



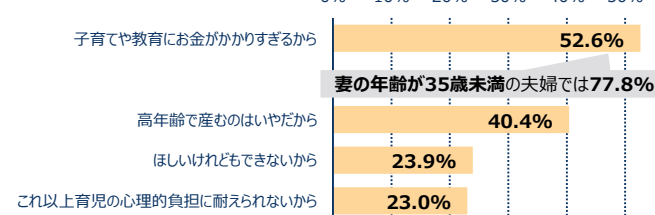
#### 【有識者の意見】

- 晩産化が緩やかに進んでおり、不妊治療など生殖補助医療についてサポートしていく必要
- 生殖補助医療に取り組む女性には、仕事との両立に困難を抱えており、ここのケアが大事

### 教育・住宅

- 子育てにおいて**教育費**と**住居費**の負担が高い

#### 夫婦が理想の子供数を持たない理由（予定子供数が理想子供数を下回る夫婦）



#### 【有識者の意見】

- 都特有の事情として、教育費及び住宅費の高さがある
- 住宅支援は、2人3人の子供を持つ際、スペース制約への解決に繋がるのでインパクトがある

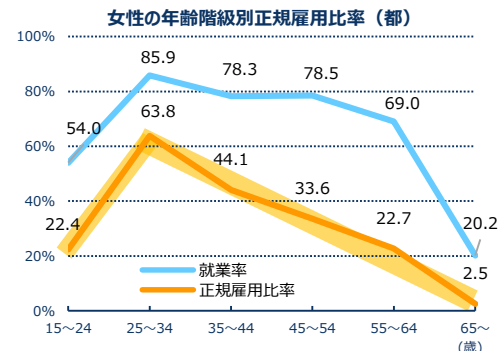
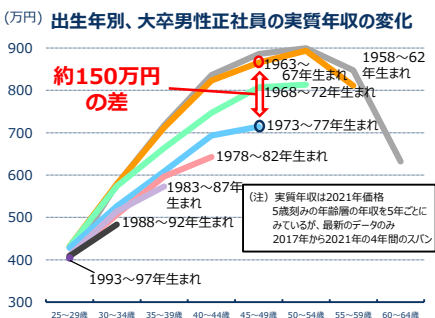
## 就労環境・職場環境

➢ 収入・雇用形態は結婚や出産に影響

➢ 仕事と育児を両立できる環境の整備が必要

## 社会気運・環境整備

➢ 子供・子育てに関する社会の理解促進や育児しやすい環境整備等が必要



### 【有識者の意見】

- 若い世代の不安定な雇用状況と低い年収でそもそも結婚できないこと（未婚化）が少子化の大きな要因
- 若い女性の正規雇用率は高くなっている中で、出産等をきっかけに辞めずに済む環境整備が重要

| 子供・子育てにやさしい社会を作る上で、有効だと思う取組（上位を抽出） |       |
|------------------------------------|-------|
| 子供・子育てに関する社会の理解促進                  | 52.2% |
| 公共・民間施設での育児サービスの充実（おむつ替えスペース等）     | 51.1% |
| 移動しやすい環境整備（公共交通機関での優先スペース等）        | 43.9% |
| 行政による子育て支援の情報発信                    | 39.0% |
| 子供・子育てを応援する地域や企業の取組紹介              | 38.8% |

（資料）東京都「若年層の結婚・子供に関する意識調査」を基に作成

### 【有識者の意見】

- 都には若い世代が多いので、子育てしやすい街、子育てにフレンドリーな街になることを期待
- 子育て応援車両等、子育てスペースの整備で子育ての心理的負担を軽減できる

## 少子化対策の更なる推進に向けて

### 基本スタンス

- 1 複合的な要因や都の特性等に対応して、多角的な観点から対策を実践
- 2 望む人が結婚から妊娠・出産、子育てをしやすいように、ライフステージを切れ目なく支援
- 3 都・国・区市町村・民間企業等がそれぞれの役割のもと連携し、社会全体で取組を推進

### 出会い・結婚

#### ■ 望む人の希望を叶える取組を推進

- ・ 出会いの機会の創出のサポート
- ・ 民間企業や区市町村等、様々な主体と連携し、安心して出会い、結婚ができる環境づくり

### 妊娠・出産

#### ■ 安心して妊娠・出産できる環境整備を促進

- ・ 不妊症に悩む方に対する支援
- ・ 子供を産み育てることを望みつつ働く女性へのサポート
- ・ 妊娠期からの切れ目のない支援

### 子育て期の支援

#### ■ 全ての孩子・子育て家庭に対し、ライフステージを通じた切れ目ない支援をシームレスに展開

- ・ 保育サービスの質・量の更なる充実
- ・ 学童クラブの整備など、放課後の子供の居場所づくり
- ・ 在宅子育て家庭を含めた子育て支援策

### 教育・住宅

#### ■ 子育て世帯の実態に応じた教育支援を充実

#### ■ 子育て世帯等が安心して生活できる住宅確保策を推進

- ・ 希望する教育を受けることができる環境の整備
- ・ 子育て世帯等の住宅確保支援

### 就労環境・職場環境

#### ■ 若年層や子育て世帯の経済基盤を充実

#### ■ 子育てしやすい労働環境の整備を促進

- ・ 希望に応じた働き方の選択と経済基盤の確保
- ・ 女性の「L字カーブ」解消に向けた取組
- ・ 仕事と子育てを夫婦で無理なく両立できる環境整備
- ・ 時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現

### 社会気運・環境整備

#### ■ 子供・子育てにやさしい社会づくりを推進

- ・ 子供の育ちや子育て中の方を社会全体で応援する気運醸成
- ・ 公共交通機関等、官民における育児サービスの推進
- ・ 地域ニーズに応じた区市町村の少子化対策の支援

## 不断に取組をバージョンアップ

■ 若年層・子育て世代を対象とした調査

■ 長期的な視点で取組の効果を検証する仕組み